

八幡市民オーケストラの活動



コロナ禍以来、久しぶりに一般客を入れての演奏でした。普通にコンサートを聴ける日常に幸せを感じながらの2時間でした。



八幡市民オーケストラ第58回定期演奏会

日付 2022年10月23日(日) 14:00 開演
場所 八幡市文化センター大ホール
客演指揮 中井 章徳

曲目

グリーク 抒情組曲
ブラームス ハイドンの主題による変奏曲
シベリウス 交響曲第1番 ホ短調

次回演奏会



第59回定期演奏会は「創立40周年記念演奏会」と銘打って行われます。



第59回定期演奏会

日付 2023年5月28日(日)
場所 八幡市文化センター大ホール
客演指揮 森口 真司
ヴァイオリン独奏 玉井 菜採

曲目

グラズノフ 祝典序曲
コルンゴルト ヴァイオリン協奏曲
ラフマニノフ 交響曲第2番



八幡市音楽連盟 前会長であり、市民オーケストラの結成から
関わって来られた水田耕三さんに寄稿して頂きました。



音楽を愛好する八幡市民の皆様（八幡市民オーケストラの活動）

八幡市文化協会 顧問

八幡市文化協会音楽連盟 顧問

水田 耕三

八幡市民オーケストラ（八幡市民オケ）が結成され、披露演奏会が開催されたのは1982年（昭57年）です。会場は八幡小学校の体育館でした。翌年（1983年）に八幡市文化センターがオープンし、以降の定期演奏会は同センター大ホールで行われています。

八幡市民オケ結成の契機は、八幡市制が施行された2～3年後、楽器演奏を趣味とされた八幡市職員お二人の要請を受け、市内在住のプロ演奏者3名と指揮者1名が当時の八幡町役場に集まり、市職員と共に協議をしたことです。その結果プロ演奏者3名が同オケ結成を主導することとなりました。

40年余の歴史をもつ八幡市民オケは結成以来、合奏練習が困難であった時期を除き、年2回の定期演奏会を欠かさず開催してきました。難曲や新曲にも積極的に挑戦してきた意欲ある姿勢は特筆すべきことと思います。

一方で、練習や演奏会で必要となる経費を負担し、事務等を含む全ての仕事を団員自らが担当しなければなりません。団員個々は様々な職業に就いていて、個人や合奏の練習のために極力時間を確保しなければなりません。これらの点でも団員の共通認識が定着していると思われまます。

オーケストラの演奏には共同・協調・調和等が求められ、例外はあるものの、個人的な考えや行いは通用しません。八幡市民オケの場合は、団の役職や演奏上の担当、そして諸々の約束等を団員の総意又はセクションの意思に基づいて、民主的に決定しているようです。このことが団員個々の責任感と協調性を持続させ、円滑なる運営に繋がっているものでありましよう。

演奏会は、演奏者と聴衆で成り立っています。市民オケとしての聴衆を相当数集めることが演奏会成立の必須の条件となります。過去の定演では、大ホール全座席の7割程度に相当する聴衆を集めています。このような団員個々の継続的な集客努力が市民オーケストラを支えているのであり賞賛に値することと思います。

八幡市民オケは、八幡市文化協会音楽連盟の一員として活動しています。定期演奏会のほか、地域の公民館コンサート等も開催し、市民の中に溶け込んだ演奏団体としても親しまれています

最近の定演にご来場された方は、プログラムの「団員募集」を目にされたと思いますが、そこには月額の手費と定演一回当たりのチケットノルマが記されています。このような個人的負担を乗り越えて音楽を愛し、楽器演奏の向上を目指し、地域に溶け込んだ活動を推進している市民オケを応援したいものです。